

『緑とのふれ合い』

本来、人間の生活にとって緑は重要であり、このことは東京においても例外ではなく、手に届く緑とのふれ合いの場を創出することは、意義深いことである。により、東京から新宿までの一大歩行空間を形成する。また、新宿御苑、神宮外苑等の軌道敷地によって分断されている周辺の公園を連結することによって、都市環境改善のより大きな効果が期待される。

『水とのふれ合い』

緑とともに水も人間の生活に欠かせない重要な要素である。本提案においても先の緑に加えて、対象地域にあるお堀り、日本橋川、神田川の水を活かした水上公園の創造を提案する。ここではより水との親しみを持たすものとして、神田川～日本橋川を巡る水上バス等も計画する。

これらの計画の推進には、中央線・総武線の地下化とともに日本橋川及びお堀の復活のために、首都高速道路の撤去（路線変更）、水質の改善等の整備もあわせて行う必要がある。

首都高速道路の撤去に関しては、地下空間に路線を計画することが可能であり、本計画においてもこの代替路線の検討を行っている。

水質の改善に関しては、雨水の利用により対応が可能であると考えられる。

5. 本提案の採算性について

最後に、事業の採算性について検討した。この検討においては、公園等に利用する地上部の地代は、歳入に含めないものとした。試算の結果、総工費約2兆7千億円に対して、歳入は20年で約5兆4千億円が見込まれ、十分に採算が取れることが確かめられた。また事業主体別に採算性を試算した結果においても採算が十分に取れることが確かめられた。

また、この他にも、54.3haもの地上空間が創造でき時間短縮効果、資産価値増大効果等の大きな社会的効果が期待される。

6. おわりに

本提案は、地下空間利用に関する一つ試案であり、地下空間利用の目的を、都市環境改善のための水と緑の創造においている点と工学的検討を行っている点に大きな意義がある。なお本提案は、有志の集まりである日大グランドデザイン研究会で検討したものを取りまとめたものである。

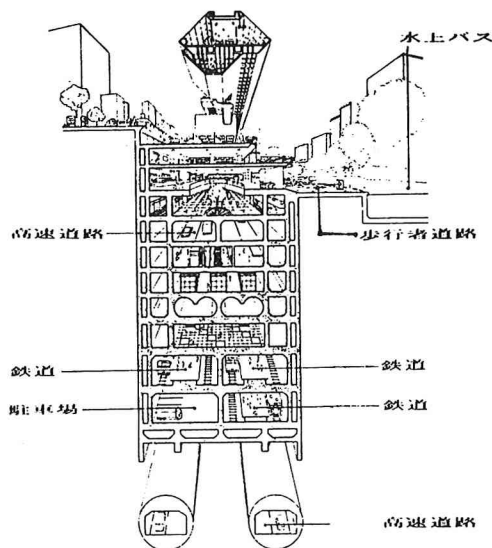


図-2 お茶の水に見る計画断面図

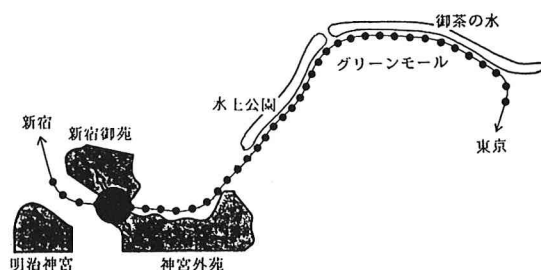


図-3 谷と水と緑の提案概略図

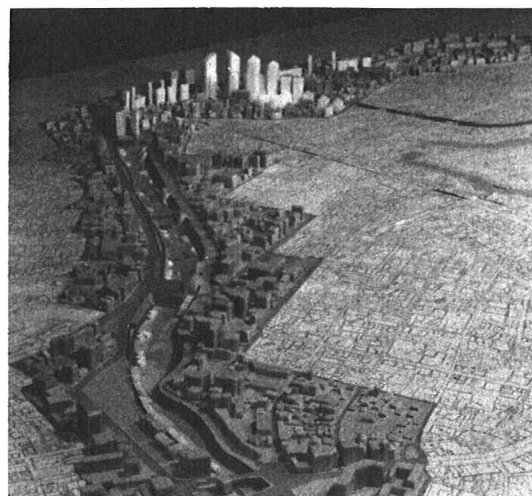


図-4 市ヶ谷駅に見る地上部利用計画（模型）